

東海道～山陽新幹線N700系のバリアフリー設備のご案内
(2022年3月12日現在、2022年8月9日更新)
©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

N700系は700系の後継として2007年7月1日から営業運転を開始しました。多目的室を改良型ハンドル式電動車いすに対応できる広さへ拡大、多機能トイレ内にオストメイト用設備を新設、公衆電話を700系までの8ヶ所から4ヶ所に半減、喫煙ルームを4ヶ所に設置など、700系からの変更点が多数あります。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

11号車の12番AB席(太平洋・瀬戸内海側)が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。このうち13番AB席は2022年3月12日以降、1ヶ月前の発売開始時から指定席券売機などで購入できるようになったため、健常者が先に購入してしまうと車いすの人やその同伴者が利用できない問題が発生しています。

12番AB席は引き続き一般席とは別枠で管理され、健常者が購入できない措置が取られています。

多目的室(次ページの配置図で「M」と表記)

改良型ハンドル式電動車いすに対応した構造のものが、11号車の東京寄り(富士山・玄界灘側)にあります。

座席の枕を取り外し座面と背もたれを手前に引き出すと簡易ベッドになります。

ただしJRでは多目的室を車いすの人優先とする運用をしているため、車いす対応座席の利用が可能な手動の車いすを使用する人が多目的室の利用を希望した場合、急病人や病弱者が多目的室を利用できないという問題が発生する可能性があります。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「O」と表記)

11号車の東京寄りに、ベビーベッド(おむつ交換台)、ベビーチェア、オストメイト用設備などを併設した多機能トイレがあります。

またすべてのトイレには火災報知器が設置されており、トイレ内でライターを使ったり喫煙したりすると警報音が鳴るようになっています。

洗面所

11号車の東京寄り(多機能トイレの向かい)に車いす対応構造のものがありません。

公衆電話

12号車の博多寄りに車いす対応構造のものがありませんでしたが、2021年6月30日限りで廃止されました。

飲料自動販売機

2014年3月14日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

それ以前は11号車の博多寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

受動喫煙の発生状況

N700系では全席禁煙ですが、3・10・15号車の3ヶ所に喫煙ルームがあり、人が出入りする際にたばこ煙が通路へ漏れ出すことによる受動喫煙が発生していることが、営業列車での粉じん濃度測定調査によって判明しています。

また喫煙ルームが存在することにより、喫煙を終えて自席へ戻ったばかりの人が肺の中に残っているたばこ煙を呼吸と共に吐き出すことになるため、これに起因する受動喫煙が、すべての席で発生する可能性があります。

乗車・調査の実施記録

丸数字は4ページ以降に掲載の写真を撮影した列車を示します。

2007年9月24日(月曜日、秋分の日振替休日)

東京12時50分発博多ゆき「のぞみ29号」(東京駅発車前に調査)

車両番号・11号車=786-704(JR東海Z4編成、2007年・日立製)

2014年2月8日(土曜日)東京6時00分発博多ゆき「のぞみ1号」

(全区間を11号車12番A席に乗車)

車両番号・11号車=786-705

(JR東海Z5編成、2007年・日本車両製)

2019年6月11日(火曜日)

広島6時13分発東京行き「ひかり460号」

(全区間を11号車13番E席に乗車)

車両番号：11号車=786-5702

(JR西日本K2編成、2007年にN2編成として川崎重工で製造、2015年の走行装置改良工事に伴いK2編成へと改番)

2020年8月5日(木曜日)東京6時00分発博多ゆき「のぞみ1号」

(東京～新大阪間を11号車13番E席に乗車)

車両番号・11号車=786-2748

(JR東海X48編成、2010年にZ48編成として日本車両で製造、2014年の走行装置改良工事に伴いX48へと改番)

2021年5月24日(月曜日)東京6時27分発博多ゆき「ひかり631号」

(東京駅発車前に調査)

車両番号・11号車=786-2743

(JR東海X43編成、2010年にZ43編成として日立で製造、2013年の走行装置改良工事に伴いX43へと改番)

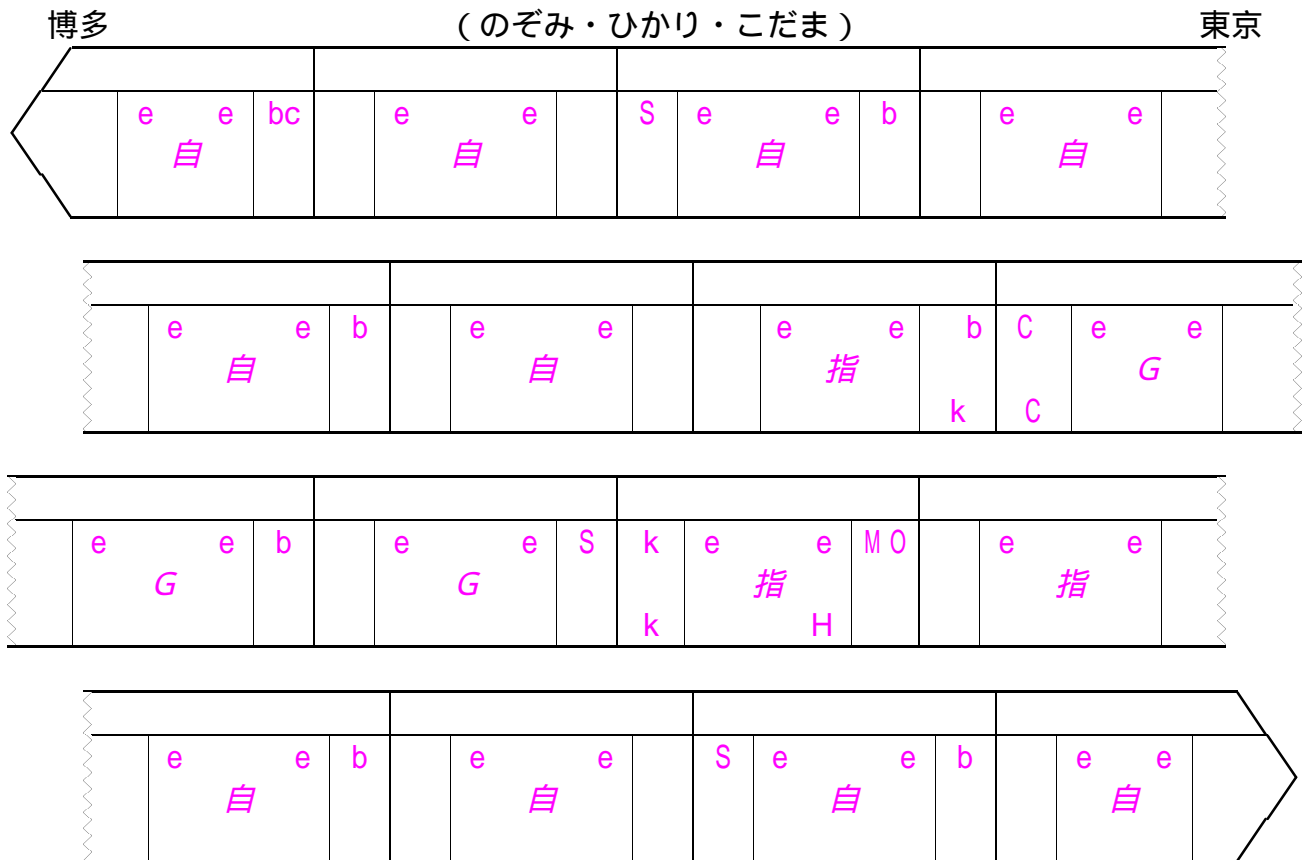
2021年6月1日(火曜日)東京6時15分発博多ゆき「のぞみ3号」

(東京駅発車前に調査)

車両番号・11号車=786-2741

(JR東海X41編成、2009年にZ41編成として日本車両で製造、2013年の走行装置改良工事に伴いX41へと改番)

N700系(16両編成)の車内設備の配置図
 (指定席/自由席の区分は「こだま」の場合を示しました)



凡例

- 指 = 普通車指定席 自 = 普通車自由席 G = グリーン車
- H = 車いす対応座席 M = 多目的室
- O = 車いす・オストメイト対応トイレ(ベビーベッド、ベビーチェア付)
- b = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド付)
- c = 車いす非対応トイレ(ベビーチェア付)
- C = 車掌室 k = 車内販売準備室
- = AED(自動体外式除細動器) S = 喫煙ルーム
- e = 緊急停止ボタン(インターホン機能無し)

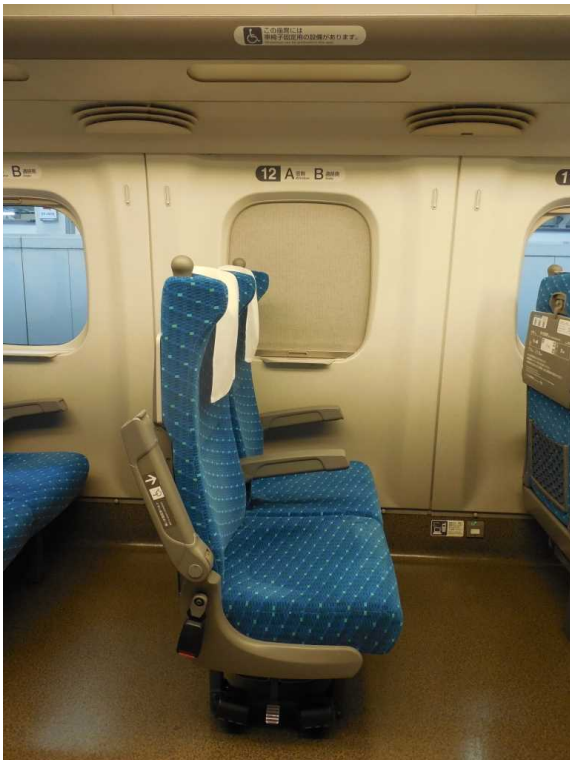
斜字 = 受動喫煙が発生する可能性がある禁煙車



東海道～山陽新幹線N700系



N700系の車体側面のロゴ
N700Aと同様の走行装置への改造後に
小さな「A」が追加されたもの



N700系11号車の車いす対応座席



N700系の車いす対応座席の
車いす固定用ベルト



N700系11号車の
バギー（車内専用車いす）格納庫
（左奥の車いすマークの部分）
画面右端は多目的室



N700系11号車の多目的室



N700系の多目的室の案内掲示
体の不自由な方が乗車しているときには
授乳などでの利用ができないことがわかる
右下には点字での案内文も見える



N700系の多機能トイレ
天井中央の丸い物が火災報知器



N700系の多機能トイレ内の
オストメイト対応設備



左の写真の上部に見えている
オストメイト対応設備の案内掲示
洗浄水のタンク容量が小さいことへの
注意喚起がされている



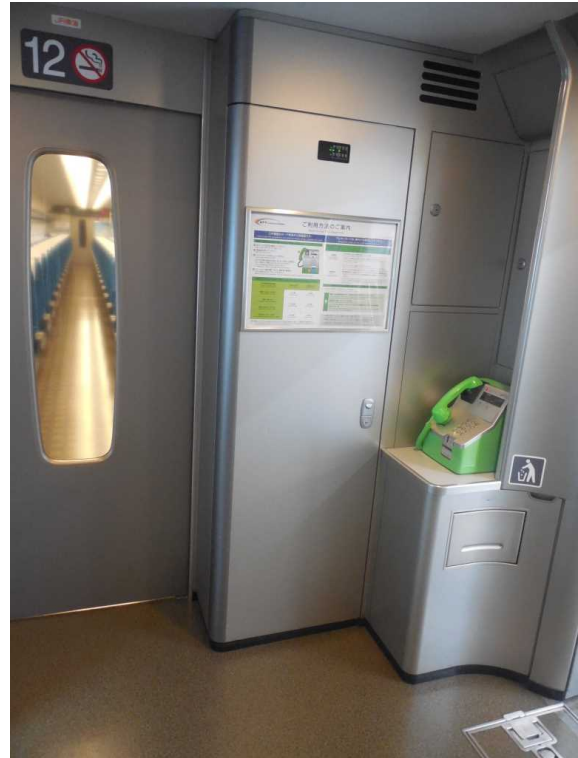
N700系の車いす対応洗面所



2014年3月までN700系の
11号車に設置されていた飲料自動販売機
(車いす非対応、現存せず)



N700系4号車の
車いす非対応公衆電話（現存せず）



N700系12号車の
車いす対応公衆電話（現存せず）
電話機設置台が4号車の物より低い



N700系11号車の
列車非常停止ボタン
(左上の号車番号表示の下)
画面右下が車いす対応座席
車いすの人は手が届かない高さ



左の写真の非常停止ボタン